

パネルライニング工法

◎パネルライニング研究会HP

概要

レジンコンクリートパネルによる

既設水路補修・補強工法

パネルライニング工法は、既設構造物を取り壊すことなく、水路トンネルや暗渠内面に、レジンコンクリートパネルを特許製法により曲げ加工した曲面パネルを表面被覆材として用い、補強材と組み合わせて補修・補強し**既設施設を有効活用**する画期的な工法です。

特徴

①施工性・経済性

レジンコンクリートパネルは軽量で人力施工が容易であり**施工スピードも速く**、部分補修も可能です。かつ耐用年数が長いため**ライフサイクルコスト面でも安価**です。

②通水能力改善

表面が平滑で耐摩耗性・**粗度係数に優れた**レジンコンクリートパネルは**任意曲率**で製作可能のため補修後の断面欠損が小さく、従来の通水量を確保できます。



馬蹄形 高さ2.65m 補修前



補修完了



円形 ϕ 2.74m 補修前



補修完了